

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「運輸分野における CO2 排出量削減施策とその総合的評価手法に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：増井 忠幸氏 東京都市大学 環境情報学部 教授 加藤 浩徳氏 東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻 教授 兒山 真也氏 兵庫県立大学 経済学部 応用経済学科 准教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> 運輸事業者による排出量削減の有力な手段としてエコドライブがフォーカスされているが、現時点で活用が進んでいないクレジット関連制度の制度的な課題等を明確にした上で、中長期的に制度を活用するためにはどのような方法が考えられるかを示した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運輸事業者において排出量削減が取り組まれていない理由や、クレジット関連制度等の制度的な課題を明らかにしたうえで、今後クレジット関連制度を活用するための方法として、施策のパッケージ化等の方法を示した。また、運輸事業者による当面の排出量削減の取組としてエコドライブを取り上げるよう改めた。
<ul style="list-style-type: none"> 総合的評価手法について、実際の国土交通省の施策をケーススタディとして取り上げ、副次的効果を定量的に算出できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン物流パートナーシップのうち、モーダルシフトの事例を取り上げ、CO2 排出量という直接的効果のみならず、事故の減少や輸送事業者の収益改善、NOx・PM の減少といった副次的効果を算出した。
<ul style="list-style-type: none"> 現状を把握することは大事であり、やる気になった時にできるような状態としていることが重要である。イギリスでは数年前に副次的効果について同様の議論をしており、参考としてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 副次的効果に関するイギリスの過去の事例について加筆した。